

雲南市

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

雲南市では、学習指導要領及び中央教育審議会答申等の内容を踏まえ、児童生徒の1人1台端末の環境を最大限活用しながら、「個別最適な学び」及び「協働的な学び」を実現していくためにデジタル教科書やGIGAスクール端末に導入しているアプリ等を活用してきているところである。

また、GIGAスクール端末の整備当初から、端末の持ち帰りや善きテクノロジーの使い手を育む「デジタル・シティズンシップ教育」を推進し、市内すべての学校で授業実践に取り組んできているところである。

今後はさらに、AIテクノロジーを駆使したデジタル教科書やクラウドツールの活用を拡大することによって、「主体的な学び」の実現に向けて加速し、これからの児童生徒がデジタル社会を生き抜くために必要とされる情報活用能力の育成を推進していく。

2. GIGAスクール構想「第1期」の総括

雲南市は、令和3年度に児童生徒の1人1台端末及び通信ネットワーク基盤の整備を実施し、児童生徒が日常的に必要な「学びの道具」としてデジタル教科書などの各種デジタルツールを活用できる環境を構築した。また、端末整備と並行して、令和4年度より専属の指導主事を配置したことにより、市内各学校の端末利活用は授業だけにとどまらず、児童・生徒会活動や様々な学校行事での活用が進んだ。また、心身における健康状況の把握にWebフォームを活用したり、リモート会議や家庭学習時のデジタル課題の配信・提出等といった日常的な「学びを止めない取組」にも積極的に活用することで、教員にとっても児童生徒にとってもなくてはならないツールとなった。

一方、導入後3年以上の歳月が経過したことにより、機器の故障、破損が懸念されることとなっている。これについては、適切な機器更新の継続的に実施していくことが大切である。また、ネットワーク通信帯域の不足、アクセスポイント設置位置の変更の必要性などの課題については、ネットワークアセスメントを定期的実施し、通信帯域の不足化を未然に防止する対策が必須である。

3. 1人1台端末の利活用方策

今後も雲南市では、学校ICT環境整備により導入した児童生徒の1人1台端末の効果的な利活用を推進し、「主体的・対話的で深い学び」を一層進めていくために、市教育委員会が主催する教職員を対象としたICT研修を充実させ、教員の指導力の向上を図っていく。また、現在整備中のAIドリルを引き続き学校、家庭での学習等に取り入れ、児童生徒が端末を活用しながら自身の特性や理解度、進度に合った課題に取り組める環境の整備を目指していく。そして、これらを円滑に実現していくため、引き続き端末や電子黒板、デジタルツール等の整備及び通信ネットワーク基盤の安定稼働を維持していくことが重要であると考えます。